

2010 年度春学期の授業評価アンケート調査について

東洋大学国際地域学部

2010 年 10 月 15 日

自己点検・評価委員会

国際地域学部では、2010 年度春学期に授業評価アンケートを実施しました。

実施科目数は 85 科目（国際地域学科 28、国際観光学科 20、非常勤 37）、回答した学生数は 5,051 人、回答率は約 70%でした。みなさんのご協力に感謝します。

国際地域学部では、このアンケート結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てています。わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

I. 集計結果

集計結果は図 1、表 1 のとおりです。問 1 は「あなたはこの講義をどのような基準で選びましたか」という質問であり、必修科目なども含まれているため学部・学科等の集計では対象外としています。授業ごとに評価結果を参照していますが、ここでは省略しました。

全体的に 3.6～4.3 の評価を得ています。評価が 4 より低かった項目は次の 11 問で、授業の改善に向けたさまざまな努力が今後とも必要です。

問 3. 授業に意欲的に取り組みましたか(3.77)

問 4. 授業内容をよく理解できましたか(3.61)

問 5. 授業内容はシラバスと整合していますか(3.95)

問 6. 教科書、参考書、配布資料などは役に立ちましたか(3.95)

問 7. 授業内容に触発され次の意欲にむすびつきましたか(3.56)

問 10. 専門知識や用語の説明はわかりやすかったですか(3.82)

問 11. 授業は要点をとらえた構成になっていましたか(3.91)

問 13. 学生の質問に対する対応は適切でしたか(3.97)

問 14. 学生の授業参加を促す努力をしていましたか(3.81)

問 15. 話し方、板書またはそれに相当する説明は適切でしたか(3.84)

問 16. この授業の総合評価を行なってください(3.93)

評価が高かった項目は次の 4 つで、そのうちの 1 つは学生の皆さんが積極的に授業に出席し、熱心に取り組んだ努力を反映しています。これらの項目は、さらに高い評価となるようにしていくことが大切です。

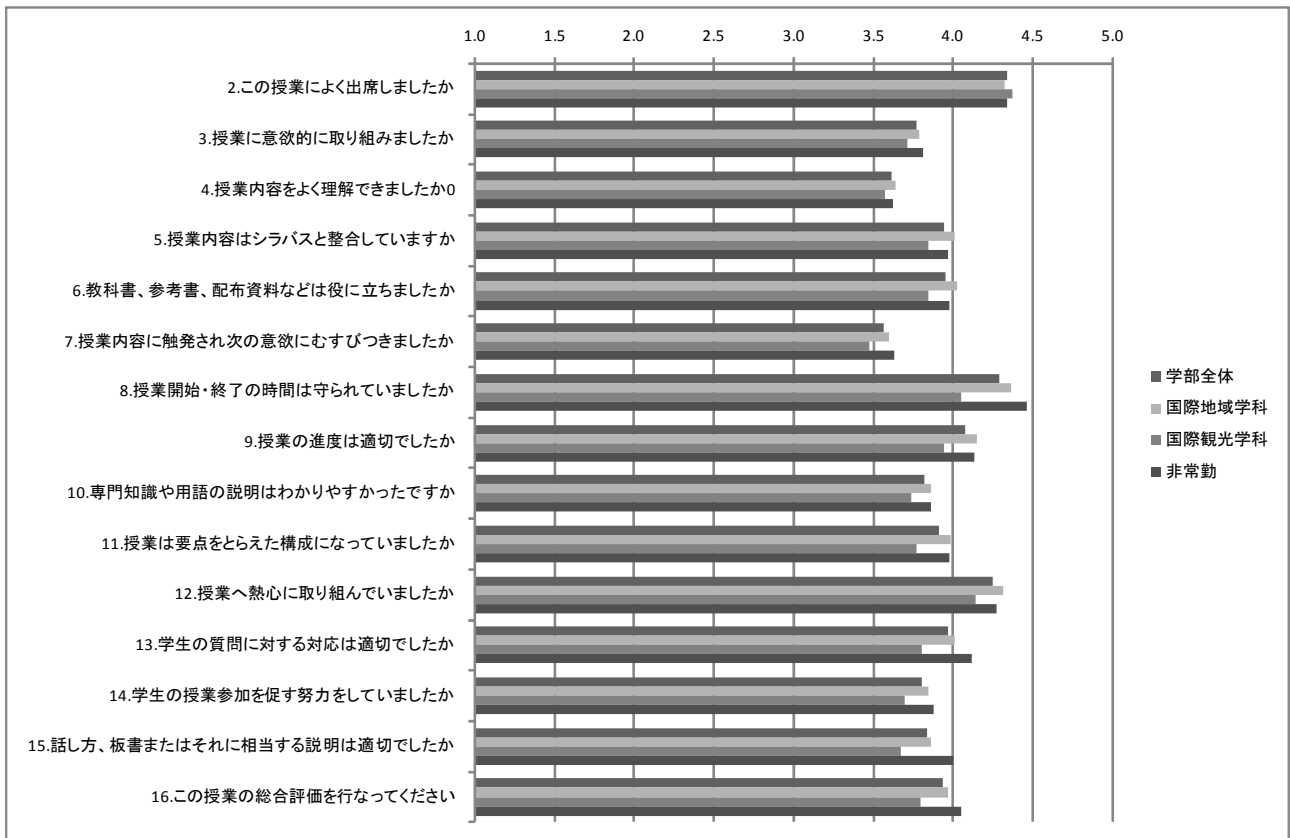
問 2. この授業によく出席しましたか(4.34)

問 8. 授業開始・終了の時間は守られていましたか(4.29)

問 9. 授業の進度は適切でしたか(4.08)

問 12. 授業へ熱心に取り組んでいましたか(4.25)

図1 授業評価アンケートの集計結果



出典：国際地域学部 2010 年度春学期授業評価アンケート結果から作成

表1 授業評価アンケートの集計結果

	設問	学部全体	国際地域学科	国際観光学科	非常勤
I	1 あなたはこの講義をどのような基準で選びましたか				
	2 この授業によく出席しましたか	4.34	4.3	4.4	4.3
	3 授業に意欲的に取り組みましたか	3.77	3.8	3.7	3.8
II	4 授業内容をよく理解できましたか	3.61	3.6	3.6	3.6
	5 授業内容はシラバスと整合していますか	3.95	4.0	3.8	4.0
	6 教科書、参考書、配布資料などは役に立ちましたか	3.95	4.0	3.8	4.0
	7 授業内容に触発され次の意欲にむすびつきましたか	3.56	3.6	3.5	3.6
III	8 授業開始・終了の時間は守られていましたか	4.29	4.4	4.0	4.5
	9 授業の進度は適切でしたか	4.08	4.1	3.9	4.1
	10 専門知識や用語の説明はわかりやすかったですか	3.82	3.9	3.7	3.9
	11 授業は要点をとらえた構成になっていましたか	3.91	4.0	3.8	4.0
IV	12 授業へ熱心に取り組んでいましたか	4.25	4.3	4.1	4.3
	13 学生の質問に対する対応は適切でしたか	3.97	4.0	3.8	4.1
	14 学生の授業参加を促す努力をしていましたか	3.81	3.8	3.7	3.9
	15 話し方、板書またはそれに相当する説明は適切でしたか	3.84	3.9	3.7	4.0
V	16 この授業の総合評価を行ってください	3.93	4.0	3.8	4.0

出典：国際地域学部 2010 年度春学期授業評価アンケート結果から作成

II. 自由記述部分

さまざまな意見が自由記述には記されており、学生のみなさんの多様な意見がわかります。その中で、特徴的な点をまとめてみました。それぞれの授業での改善と学部・学科としての改善が重要です。

【国際地域学科】

国際地域学科の学生の自由記述による意見では、個別の授業に対して内容が分かりやすい、パワーポイントなどの情報機器の利用や配布資料が分かりやすいといった評価の声の一方で、それらの使い方に対する要望や専門用語の説明、板書・声の大きさに関する指摘があります。授業中の私語が多い、教室を出ていく学生が気になるなど、学生への注意を増やしてほしいといったものも挙げられています。

【国際観光学科】

国際観光学科の学生による意見では、配布資料、パワーポイント、DVDによる映像などを使用することで、授業への興味も持て、理解が深まるという評価が多く聞かれました。また外部講師を招いての講義も、普段の授業とは異なる視点で気づかされることも多かったとの声もありました。語学の授業では、「話し、聞き、書く」の学習により、実践的に語学習得ができたという声がありました。語学のみならず、学生が参加できることが望まれる（たとえば、意見を述べる）声もありました。学生の皆さんからも、もっと自主的に参加してほしいものと思います。一方で、説明の仕方の速度、板書や声の大きさに関する指摘がありました。また、全体ではクラスサイズに関する記述が多く、少人数授業への要望が高いことが伺えました。

III. 教員から学生へのコメント

皆さんからの自由記述などをもとに、それぞれの教員から学生のみなさんへのコメントを掲載します。学生のみなさんと教員の相互の意見交換のきっかけになれば幸いです。なお、名前の記載は教員本人の判断に拠っています。

【国際地域学科】

- ・多くの学生は知識を得ようと一生懸命講義を聴いていますが、中には単位さえ取ればそれでよい、との姿勢の学生も見られます。それは非常に残念です。また周りに迷惑を与えます。(松浦茂樹)
- ・エネルギー資源問題は、社会・経済の基盤です。物事には必ず長短両面があり、その観点から各々のエネルギーも見てみてください。毎日の報道・ニュースが興味深くなるはずです。(久留島守広)
- ・具体的な地域の現場に立って、地域の特性を活かしつつ、自ら地域を方向づける能力を身につけてください。(藤井敏信)
- ・①皆さんのコメントを吸い上げて、次回の授業に反映したい(話し方、聴講者に合わせた教室の調整、私語への対応) ②授業の主体はいつも自分であるという意識(Student ownership)を持って、授業に積極的に取り組んで欲しい ③ノートの取り方を工夫して、ノートを取る力を身につけること(安相景)
- ・学生の皆さんの指摘には傾聴すべき点が多々あるので、授業改善にできるだけ活かしていきたい。(中上光夫)
- ・途上国の生活環境の現状と問題点について多少ショッキングな映像を含めて講義を行いました。一部には熱帯病の患者の映像などに抵抗を感じる方もおられましたが、途上国で生活環境を考える際には避けて通れない点だと考えています。今後も途上国における自分自身の体験談や現地で撮影した写真などを用いて途上国で行うべき環境改善策などの情報を提供して行きたいと思います。(北脇秀敏)

・専門用語が難しいという意見が毎回いくつかあるが、大学の講義では講義以上の時間を使って自分で学習するのが当然であり、配布資料に沿ってインターネット等で調べることができるはず。選択必修枠であるので、IT技術に興味がないのであれば他の講義の受講を勧める。(芦野俊宏)

・きちんと出席し、ノートを取る。配布資料は順番に整理すること(太田勝敏)

・私も努力して、「英語による専門科目」のメニューを増やしていきます。みなさんも英語での受講にぜひチャレンジしてみてください。(子島進)

・皆さんからいろいろな角度からのコメントを頂きました。同じ授業に対しても、その人の取り組む姿勢によりその授業から得られるものは大きく異なります。特に大人数の授業ではその違いは顕著になります。皆さんも貴重な時間を使って授業を受けているわけなので、大人数の授業でも積極的な姿勢で授業に取り組んでください。(荒巻俊也)

・コメントをありがとうございます。初心を忘れず、これまでと同じように熱心に講義します。(久松佳彰)

・The students improved a lot in terms of speaking ability. I wish they had been a bit more serious about the homework and about attendance. Overall, though, a good group. I look forward to seeing them again. (Anonymous)

・The purpose of this oral communication class is speaking practice which requires active participation of students. Students need to make an effort to contribute interesting information to keep the conversations interesting. This is the student's responsibility, not the teacher's responsibility. The teacher's role is to facilitate opportunities for students to participate in real communication by providing questioning strategies and after that it is up to the students to do the rest as participants in communication (Robert Hughes)

・Thank you for your feedback on the course. I will do my best to incorporate your suggestions in future classes. (Tyler Burden)

・学期当初、受講希望者が多く抽選を実施してしまったことは申し訳なく思っています。しかし、受講者参加型の講義を展開するためにはやむをえない措置でしたので、ご理解ください。ヨーロッパに対し、ほのかな憧れを抱いている人が多いと思いますが、ギリシャの金融危機やベルギーの言語分断の問題など、発足以降最大の危機を迎えているEUの今後ぜひ注目し、あらたな視点でヨーロッパのことを勉強してください。(佐藤郁)

・口述の授業を聞いて、自らノートを作成出来るよう意識改革をしてほしい。提供される補足資料はあくまで補助である。(阿久津正幸)

・肯定的評価もある一方、否定的評価も少なくないことに留意する必要がある。講義効率を低下させない範囲で改善に努めることとする。テキストの利用については、これらは基本的に読めば理解できる内容のものを選択しているため、講義においては主として、そこに記述されていない内容について取り扱うことになる点は、受講者に了承していただきたい。(小島喜一郎)

・頑張ってくれた木曜日3限・4限の生徒さんの皆さん、ありがとう。授業中は私からの無理な要求に、しっかりと応えてくれた皆に本当に感謝しているよ。しっかりと文字が読めるようになったら、今度はいっぱい話して、聞いてみようね。思ったよりずっと身近な言語であることでウキウキすると思うよ
(コン・ヘギョン)

・主体的に授業に臨んでいただき、感謝しております。今後も学部の科目はもちろん、教職課程科目も

真剣に取り組み、視野の広い教員になれるよう、努力してください。(佐々木竜太)

・課題学習も多く、大変であったと思いますが、皆さんよく努力されたと思います。皆さんのレポートの中には、こちらが感心する様な内容のものも少なくありませんでした。今後も期待しています。(松井圭介)

【国際観光学科】

・「ウェルテル」はいかがでしたか? 「高慢と偏見」は? 今話題になっているドラマやマンガだけではなく、遠い時代の遠くの地域であっても世界には面白い話がたくさんあります。大学時代に読書をすることで多くの心のポケットを作ってください。(垣本せつ子)

・学生諸君の授業に対する意見を、全体として「難しい」が「説明は丁寧」と理解した。板書に対する批判・要望が多いが、口頭の説明とセットである。全ては書かない。マイクの音が聞き取れないとの意見はできる範囲で対応するが、私語も慎んで欲しい。(和田尚久)

・地理情報システムの授業では、PC を使って自ら操作でき、地図の新しい見方、利用法を自主的に学べたという意見・感想を多くいただきました。今後とも生徒の自主性を促す形の授業、コンテンツの更新を行っていきたいと思います。(藤田晴啓)

・ I hope students come to class ready to try to speak English with all class members, plus H.W. is important to use for the next lesson. (Robson Graham)

・このサイズの授業ではちょっとした私語が大きな騒音となります。私も面白い授業にする、私語は厳しく注意する、など努力をしていきますので、学生各自も自覚を持って授業に臨んで下さい。(無記名)

・人に頼る前に、まず自分でできることは何かを考えてから、要求をするようにしなさい。人の欲望というものは決してみたされることはなく、また新たな欲望を生むのです。(島川崇)

・「教育概論」で多くの学生諸君が、授業担当者の実体験をふまえた講義を通じて、教職の難しさとともに、そのやりがいを実感してくれたようです。教師は、「可変的立場」としての生徒の将来を左右する重要な仕事で、その責任感は非常に重いものがありますが、そのやりがいも格別です。多くの民差さんに、そうした教職の魅力が伝われば幸いだと考えます。同時に、恩師の方々からの聞き取りから、先生方のご苦勞と皆さんへの強い期待が伝わってきたはずです。これからの学生生活を、恩師の先生方の期待に答えて頑張ってほしいと思います。教職課程はまだまだ始まったばかり、これからが、まだまだ大変ですが、ぜひがんばってください。(須賀忠芳)

・Keep coming to class. Keep doing all of the homework. Keep practicing English in class when we do communication activities. Keep creating fine English presentations.(Anonymous)

・グローバル化の進行に伴い、開発途上国では都市部に人口が急増し、劣悪な住宅地が拡大し、一方で農村との格差についても指摘されており、現代社会において私たちは様々な都市や地域の問題に直面しています。これらの問題に対し、都市・地域計画や開発援助の分野において、従来のパラダイムの転換が提唱され、参加型のまちづくりやガバナンスの確立などにみられるように開発手法を巡って、新たな試みも行われています。豊かな生活をしてける地域社会を築くために、多様化した課題に対し、広い視野を持ち、さまざまな視点から私たちの身近な問題として都市や地域の問題をとらえていく必要があります。これからの都市や地域の在り方について、大学で得た知識から、社会を変革するために自ら考え、そして何ができるのか、一緒に考えてみませんか。(川澄厚志)

・まず、時間を大切にしてください。大人数の講義ではプリント1枚を配布するだけでも時間がかかり

ます。無駄なおしゃべりせず行動を素早く、これが時間を大事に使うコツ。一人一人が意識を持って協力することが大事です。さて、今回は、外部講師をお呼びしました。ビジネスの現場にいる方しかも経営者から直接聞くことは、とても刺激的で、興味深い話が聞けます。ただ、もっと知りたいことがあれば、書店（図書館）に行けば、たくさんの書物がありますし、モノやサービスを購入すればホスピタリティを経験することも簡単にできます。もっと好奇心を持って自ら学ぶ姿勢をもってください。（道畑美希）

・積極的な参画意欲を持って履修していただきたいと思います。課題への取り組みや実習を原則として毎日行います。（合谷美江）

・グローバルな観光産業では、情報システムの活用が道を切り開く大きな要素となります。多くの事例を研究し、将来に備えてください。（中谷秀樹）

・情報演習で学習したスキルをぜひ他の授業でも活かしてください。（愛沢祥子）

・イベントは、人々を元気にし、街を元気にし、国を元気にする。イベントは、人と人、人と情報を結ぶ。人生を豊かに過ごしたいなら、数多くのイベントに参加・体験することだ。（宮木宗治）

以上のようなみなさんの意見を今後も取り入れながら、質の高い授業づくりを考えていきたいと思えます。授業評価アンケートが学生のみなさんと教員の相互の意見交換のきっかけになれば幸いです。

国際地域学部 自己点検・評価委員会